

2021 年度大型クラゲ出現情報 (No. 5)

岩手県水産技術センター
令和 3 年 11 月 4 日

中北部日本海～太平洋で大型クラゲが確認されています

一般社団法人漁業情報サービスセンター等がとりまとめた出現状況の概要を紹介します。

1 本県における大型クラゲ出現状況 (図)

現在、岩手県沿岸北部から南部にかけて、広範囲で定置網等への大型クラゲの入網が確認されています。

水産振興課への出現報告 (9月27日～11月1日) によると、久慈地区で369個体 (14ヶ統)、宮古地区で376個体 (24ヶ統)、釜石地区で45個体 (5ヶ統)、大船渡地区で48個体 (7ヶ統) の入網が確認されています。0.5～1.0mの中型の個体が主体となっており、久慈～宮古地区からの報告が多い傾向にあります。

2 全国の大規模クラゲ出現状況の概要 (図)

中西部・北部日本海から宮城県までの太平洋で出現が報告されています。ほとんどが10個体以下の出現であり、日本海北部を中心に大型化する傾向があります。

上記1及び2の情報から判断すると、今後、大型クラゲの大量出現の可能性は低いと思われませんが、日本海北部海域では顕著に大型化する傾向にあるため、少量の入網でも操業に影響が出る可能性があります。

大型クラゲの入網や目撃情報、操業に係る被害などが確認されましたら、最寄りの水産部、水産振興センター又は水産技術センターまでお知らせください。

(参考)

大型クラゲに関する情報は、漁業情報サービスセンターが随時ホームページで公開しておりますので、併せて御覧ください (URL : <http://www.jafic.or.jp/kurage/>)。

お問い合わせ先
漁業資源部 (担当: 岡部)
電話: 0193-26-7915
FAX: 0193-26-7920
E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

2021年度大型クラゲ出現量 2021年11月1日現在

最近2週間の出現情報から、明確な数量の記載があった全てのデータで、1日あたりの底びき・調査船等からの報告(入網数、目視数)と定置網等への入網数で分けて表示してあります。報告に幅があった場合(たとえば50~100個体)は、より数量の大きい方を採用しています。海区単位の報告の場合は海区中央部に表示しており、正確ではありません。

有害生物漁業被害防止総合対策事業
NPO法人 水産業・漁村活性化推進機構
JAFIC/一般社団法人漁業情報サービスセンター
国立研究開発法人 水産研究・教育機構

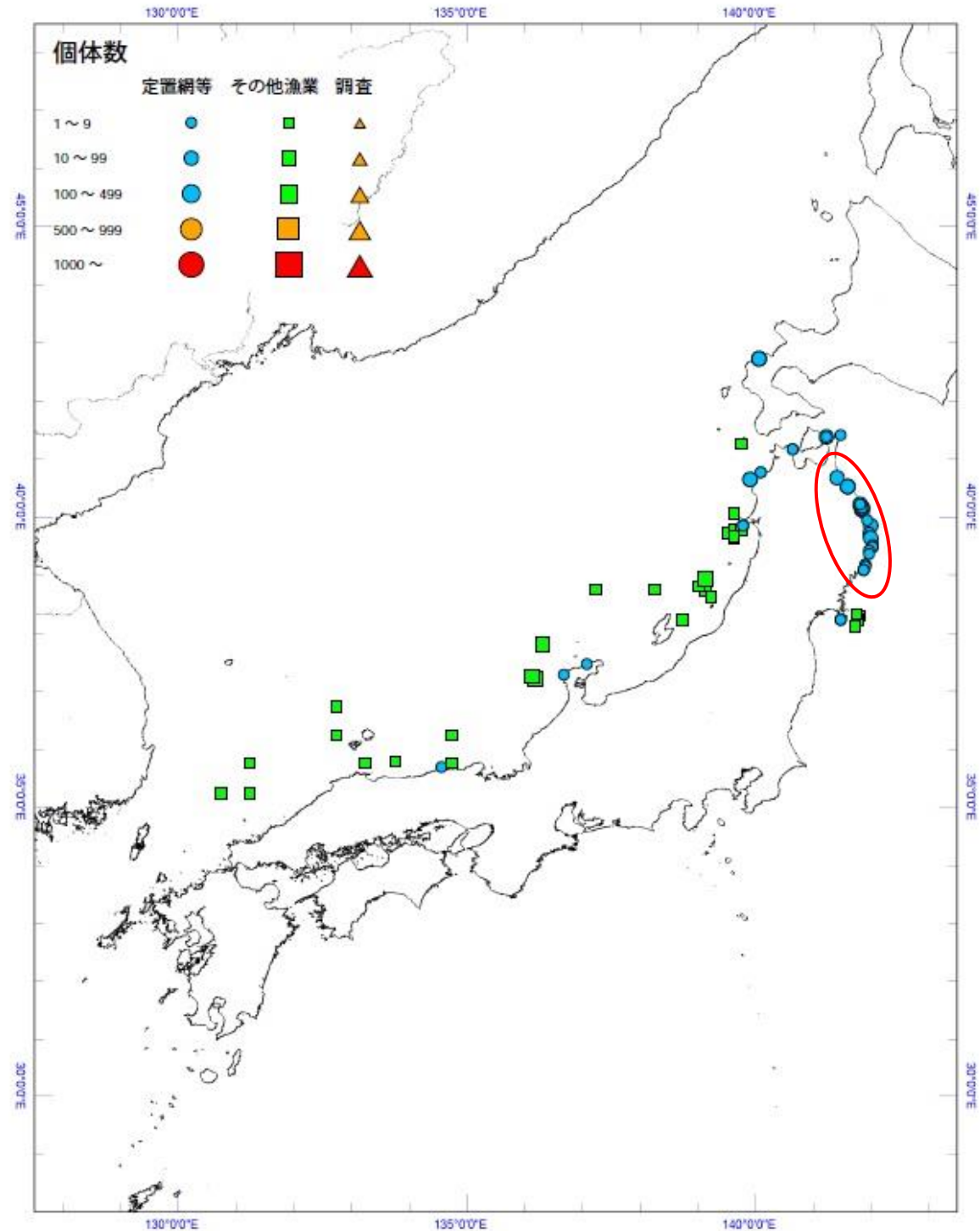


図 2021年11月1日現在の大型クラゲの出現状況 (漁業情報サービスセンター大型クラゲ出現情報 (<http://www.jafic.or.jp/kurage/>) より引用)